

- 02 目次
- 03 平成 26 年度弘前市顕彰 ほか
- 04 特集
- 10 市政情報
- 16 弘前城石垣修理
- 17 第 5 回～石垣修理の工程～
- 18 暮らしの information
- 25 Health Information
- 26 健康の掲示板
- 28 smile 通信

くらしの消費者講座 ほか

話題

特集

図や表で見る市の財政

市政情報

◆弘前市空き家等の活用、適正管理に関する条例 ほか

フォトコレ in ひろさき

弘前城菊と紅葉まつり、地域を支える車大集合!

弘前城石垣修理

第 5 回～石垣修理の工程～

暮らしの information

イベント、教室など

学生企画コーナー

もっと②♥弘前!!

Health Information

健康の掲示板

健康ひろさきマイレージ制度

読者のひろば

smile 通信

弘前図書館近着図書紹介  
食改さんおすすめレシピ  
さらっと一句・川柳

ARで **動画** を見よう!!

広報ひろさきでは、写真にスマートフォンなどをかざすと動画が見られる「AR」サービスを実施しています。詳しくは 16 ページをご覧ください。



## 「吉野町緑地の未来を語るグループ・ミーティング」メンバー募集

吉野町緑地エリアの活用について、幅広く市民の意見を求めるため、吉野町緑地の未来を語るグループ・ミーティングのメンバーを公募します。奮ってご応募ください。

▽応募資格 市内に居住または通勤・通学する満 20 歳以上の人（議員、公務員を除く）

▽募集人員 2 人程度

▽募集期限 12 月 10 日（必着）  
▽ミーティングの開催など 開催予定は 1 月、2 月に各 1 回の計 2 回。1 回当たりの開催時間は、2 時間程度。ミーティングは平日の日中に開催予定。

▽謝礼など 1 回の開催につき、謝礼 8,000 円と交通費（バス代など）を支給。

▽応募方法 次の事項を記入した応募用紙を、郵送、持参、または E メールで提出を。

①住所・氏名（ふりがな）・生年月日・性別・職業・電話番号

②志望動機・抱負・まちづくり（特に土淵川吉野町緑地周辺エリアの活用について）に関する意見など（400 字程度）

※応募用紙の様式は自由ですが、参考様式を市ホームページに掲載しているほか、ひろさき魅力プロデュース室（市役所 4 階）、岩木総合支所総務課、相馬総合支所総務課で配布しています。なお、応募用紙は返却しませんので、あらかじめご了承ください。

▽選考方法 選考委員会で選考し、結果は応募者全員に通知します。

■問い合わせ・提出先 ひろさき魅力プロデュース室（〒036・8551、上白銀町 1 の 1、☎ 40・7123、E メール miryokupro@city.hirosaki.lg.jp）

## くらしの消費者講座

ネット通販やワンクリック請求など、携帯電話やインターネットに関するトラブルについてわかりやすく説明します。

▽とき 12 月 14 日（日）  
午後 2 時～3 時半

▽ところ ヒロロ（駅前町）3 階多世代交流室 2

▽講師 鶴谷みつ子さん（青森県金融広報委員会金融広報アドバイザー）

▽定員 30 人（先着順）  
※事前の申し込みが必要。  
▽参加料 無料  
■問い合わせ先 市民生活センター（☎ 34・3179）



【今号の表紙】  
実り多き秋

りんごの収穫作業が最盛期を迎えた 11 月初旬。どこのりんご畑でもカゴいっぱいりんごがずらりと並び、収穫の喜びを感じさせます。家族や親戚が集まり、総出での収穫作業は、いつも静かなりんご畑を活気づけていました。一方で、収穫が終わった畑はりんごの鮮やかな赤色がなくなり、これから始まる長い冬の訪れを予感させます。

# 平成 26 年度 弘前市顕彰

## ■ 市政の進展、社会福祉の増進等に寄与



吉本 睦子さん（71）

民生委員・児童委員として、永年の活動で培った経験を生かし、後進の指導と育成に努めたほか、町会連合会保健衛生委員も務め、当市の社会福祉の発展に寄与しました。

## ■ 産業、経済等の振興に貢献



新戸部 満男さん（82）

地域経済総合団体である弘前商工会議所会頭を務め、地域活性化のためのイベントの開催や地場産業の育成、農商工連携の推進など、地域経済の発展・振興に寄与しました。

## ■ 教育、文化等の振興に貢献



弘前諸流華道協会（葛西 重子 代表）

流派の垣根を越えて生まれた当協会は、弘前諸流いけばな展の開催などを通じ、多くの市民に潤いのある空間を提供し、当市の文化芸術の振興に寄与しました。



工藤 満次さん（71）

津軽三味線奏者として、国内外での演奏活動を通じて、津軽三味線の素晴らしさを伝えるとともに、施設や学校での演奏会や教室の開催など、当市の文化芸術の振興に寄与しました。



弘前市吹奏楽団（小林 光太 代表）

公演活動を通じて市民に優れた芸術機会を提供するとともに、演奏会の開催や各種コンクールへの参加など、創立から 30 年にわたる活動は、当市の文化芸術の振興に寄与しました。



八木橋 榮一さん（77）

学校薬剤師として、児童生徒の健康管理はもとより、定期検査や保健指導などの学校保健活動に努め、当市の学校環境衛生の向上に寄与しました。

ひろさき  
夢追い人  
File.17

菊池 錦子さん

1962 年、弘前市生まれ、書家

弘前市立時敏小学校、弘前市立第一中学校、青森県立弘前中央高等学校卒業。母親の勧めで 6 歳から書に親しむ。28 歳で書壇を退き、個人で書の活動を始め、個展で作品を発表しているほか、自身の書と写真で綴った「ゆりかご」（1999 年）、「ゆりかごⅡ」（2011 年）を出版。2008 年には宮崎あおいさんが主演を務めた NHK 大河ドラマ「篤姫」、2011 年には上野樹里さん主演の「江～姫たちの戦国～」で題字を揮毫（きごう）するなど、映像・イベントなどのタイトルや社名、商品名など多方面にわたって筆文字のロゴも手がけている。当市においては、2011 年に開催された弘前城築城 400 年祭の題字や「弘前城新能」、2014 年 9 月に開催された「あおもり 10 市大祭典」の題字を揮毫している。現在、菊池さんと同級生のファッションデザイナー鈴木大器さんが代表を務めるセレクトショップ N E P E N T H E S（ネペンテス）ニューヨーク店において、自身初の海外での個展「菊池錦子の書～ほとばしる想いをのせて～」を開催（1 月 17 日ころまで）している。

### 【市民の皆さんへ一言】

縁あって生まれ、育（はぐく）んでいただいている地、弘前。“すべてにありがとう”の気持ちを込めて、“活”をしたためさせていただきました。皆様お一人お一人の力で、“活（イ）きな弘前”がつくられ続けていくことを想像して…

◎このコーナーでは、当市にゆかりが深く、各界で活躍している人や団体を紹介します。

